

# プリモマックス®

## 液剤

農林水産省登録第21959号  
有効成分:トリネキサパックエチル:11.2%  
毒物及び劇物取締法:非該当

包装:250ml×4本  
有効年限:3年  
危険物:第4類第3石油類

プリモマックス液剤の詳細情報・製品安全データシートはこちらから  
<http://www.syngenta.co.jp/golf/purimomax/>

### 特長

- ◎芽数・根量の増加によりターフの品質が向上し、ストレスに強い美しいターフになります
- ◎茎葉の伸長抑制効果で刈込み回数と刈カスを軽減し、コース管理の省力化・低コスト化に貢献します



### 使用方法

作物名	使用目的	1m <sup>2</sup> 当り使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリネキサパックエチルを含む農薬の総使用回数
		薬量(mL)	希釈水量(mL)				
日本芝	草丈の伸長抑制による刈込み軽減	0.05～0.1	0.8	生育盛期	5回以内	全面均一散布	5回以内
日本芝(のしば)			150～200				
日本芝(こらいしば)	0.05～0.075	50～100					
西洋芝(ブルーグラス)	芽数増加及び根量増加	0.035～0.075	100～200				
			0.05～0.15				
西洋芝(ペントグラス)	草丈の伸長抑制による刈込み軽減	0.1～0.2	150～200				
			0.07～0.14				
西洋芝(パーミュダグラス)	芽数増加及び根量増加	0.05～0.1	100～200				
			0.07～0.14				

### 効果・薬害等の注意

- 散布液は調製した日に使いきってください。
- 噴霧器などを用い芝の茎葉に均一に散布してください。
- 散布直後に降雨が予想される場合の散布及び散布直後の芝の刈込みは避けてください。もし、散布直後に降雨があっても再度散布しないでください。また、本剤の散布後の芝地に立ち入る場合は芝の茎葉部が十分に乾燥した後にしてください。
- 本剤は良く管理された芝で生育最盛期に使用した場合に最も良い結果が期待できます。本剤に対する芝の感受性は芝の管理状況ならびに環境条件により変動する場合がありますので、次の点に十分注意してください。
  - ・芝がストレス状態(踏み跡、極端な少肥条件、極端な過湿・過乾条件、刈込み直後など)にある場合ならびにターフ形成前の芝では、生育抑制効果が大きくなり過ぎたり、芝草の葉色が一時的に変化することがあるので、表中の使用量の範囲内で少なめの薬量を使用するか使用を避けてください。
  - ・多肥条件下などで芝の生育が極端に旺盛な場合は、所定の使用量の範囲内で多めの薬量の使用により良い結果が期待できます。
- 年2回以上使用する場合は、2回目以降の処理は残効が切れる時期に行うと効果的です。
- 周辺作物にかからないように注意してください。
- 散布に際しては影響が懸念されるのでミツバチ及び巣箱にかからないように注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
  - ① 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
  - ② 散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  - ③ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  - ④ 散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意をし、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
  - ⑤ 散布終了後は次の項目を守ってください。
    - (a)使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管してください。
    - (b)機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤の散布液を調製した容器ならびに散布器具は使用后十分に水で洗浄してください。また、洗浄した廃液ならびにやむを得ず使い残した散布液は、河川などに影響がないように適切に処理してください。
- 使用後の空き容器は、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

### 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗い、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

### 貯蔵上の注意

- 火気や直射日光をさけ、食品と区別し、なるべく低温で子供の手のとどかない場所に密栓して保管してください。



# バウンティ®

## フロアブル

農林水産省登録第17229号  
有効成分：パクロトラゾール：21.5%  
毒物及び劇物取締法：非該当

包装：250mL×4本入×5箱  
有効年限：3年

バウンティフロアブルの詳細情報・製品安全データシートはこちらから  
<http://www.syngenta.co.jp/golf/baunti/>

### 特長

- ◎美観を維持できます
- ◎計画的な散布ができます
- ◎危険な刈込作業が減らせます



### 使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	パクロトラゾールを含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量			
樹木等	堤とう、駐車場、運動場、宅地のり面、飛行場、グリーンベルト等	一年生雑草 (シロザ、アオビユを除く) 多年生雑草	草丈の伸長抑制による刈込軽減	雑草生育初期又は生育中期刈込直後	2～3L/10a	100～300L/10a	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に茎葉散布	3回以内

作物名	使用目的	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	パクロトラゾールを含む農薬の総使用回数
		薬量又は希釈倍数	希釈水量				
日本芝	草丈の伸長抑制による刈込軽減	750～1500mL/10a	100～300L/10a	生育期	2回以内	全面散布	2回以内
	一年生雑草の生育抑制による発生密度の低減			雑草生育初期		雑草茎葉散布又は全面土壌散布	
西洋芝 (ベントグラス)	スズメノカタビラ生育抑制による発生密度の低減	40～80mL/10a	100～200L/10a	秋冬期スズメノカタビラ発生前～初期	1回	全面土壌散布	
	スズメノカタビラ出穂抑制			春夏期スズメノカタビラ出穂前			
西洋芝 (ブルーグラス) 西洋芝 (ライグラス) 西洋芝 (フェスク) 西洋芝 (オーチャードグラス)	草丈の伸長抑制による刈込軽減	400mL/10a	100～300L/10a	刈込7日前～刈込直後	2回以内	全面散布	
樹木類	新梢伸長抑制及び整枝・刈込・剪定軽減	250～500倍	200～700L/10a	新梢伸長開始期又は刈込・剪定後新梢伸長開始期	1回	茎葉散布	1回
アペリア	新梢伸長抑制及び整枝・剪定軽減	0.6～1.2mL/m <sup>2</sup>	1～5L/樹	萌芽前		土壌灌注	
やまもも (緑化木)		1.6～3.2mL/幹径1cm		萌芽前又は剪定7～10日前			
とうかえで いぬつげ				萌芽前又は剪定前			

### 効果・薬害等の注意

#### 一般的注意事項

- 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 他の薬剤との混用は避けてください。
- 極端な乾燥条件下での使用は避けてください。
- 極端に樹勢や生育が旺盛な場合には、効果が不十分な場合があるので注意してください。
- 樹勢や生育が弱っている場合や生理障害が出やすい条件下では使用しないでください。
- 幼木では使用しないでください。
- 散布直後に降雨があった場合でも、再散布はしないでください。
- 本剤の伸長抑制効果は、一般に使用量が多いほど効果が高くなる傾向があるので、希望する抑制程度に合わせて所定の範囲内で使用量を決めてください。
- 本剤の施用により翌年まで効果が持続することがあるので、次年度の処理に際しては、その反応に応じて薬量を適宜調整してください。
- 本剤は対象作物以外の作物にも影響を及ぼすので、周辺作物にかからないように注意してください。また、使用後の噴霧器等は十分洗浄してください。
- 桑畑が周辺にある場合は、飛散しないよう注意して散布してください。
- 本剤は他の作物を植え付ける予定のある土地では使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 水源池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。

#### 本剤を芝に使用する場合、一般的注意事項の他に下記の事項にも注意してください。

- 本剤の使用により、葉の色や形が変化する等の症状がみられる場合があるので、まきむらのないよう均一に散布してください。
- 効果発現までに、条件により5～10日間位要するので、その間は通常どおりの刈込管理を行ってください。
- 草丈の伸長抑制による刈込軽減目的で使用する場合には、ゴルフ場のグリーン上では使用しないでください。

#### 本剤を樹木類に使用する場合、一般的注意事項の他に下記の事項にも注意してください。

- 本剤の連年施用により枝および葉の生育や開花等に影響を及ぼす恐れがあるので注意してください。また、食用には供さないでください。
- 本剤はポット・プランター等の容器栽培のポインセチアには抑制効果が高くなるので使用しないでください。
- 下記の作物以外又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。  
・つつじ類、つげ、いぬつげ、まめつげ、ボックスウッド、さざんか、まてばしい、やまもも (緑化木) 及びとうかえで。

### 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また、薬液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は、手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、使用中及び使用後 (少なくとも使用当日) に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

### 貯蔵上の注意

- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。